

市民意見募集の結果について

町田市スポーツ推進計画19-28（案）について、市民意見募集を行いました。貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

ご意見につきましては、本計画の策定及び今後の市政の参考にさせていただきます。

1 意見募集の期間

2019年1月4日（金）～2019年2月1日（金）まで

2 意見の周知

広報まちだ1月1日号、町田市ホームページ

3 配布（閲覧）場所

スポーツ振興課（市役所10階）、広聴課（市役所1階）、市政情報課（市役所1階）、各市民センター、木曾山崎コミュニティセンター、町田・南町田・鶴川・玉川学園の各駅前連絡所、各市立図書館、町田市民文学館、男女平等推進センター（町田市民フォーラム3階）、各子どもセンター、生涯学習センター、総合体育館、サン町田旭体育館、陸上競技場、相原中央公園管理事務所、小野路公園管理事務所、成瀬クリーンセンターテニスコート

4 募集方法

郵送、ファクシミリ、メール、窓口

5 意見の内訳

55名から107件のご意見をいただきました。ご意見の項目別の内訳は以下のとおりです。（おひとりから複数のご意見をいただいた場合は、主旨ごとに分割して集計しています。）

意見	件数
第1章スポーツ推進計画策定にあたって	2件
第2章町田市のスポーツに関する現状と課題	2件
第3章スポーツ推進の施策について	5件
基本目標1 スポーツの参加機会の充実	14件
基本目標2 スポーツに関わる人材と組織の充実	25件
基本目標3 スポーツ環境の充実	22件
基本目標4 スポーツを通じたまちづくり	15件
第4章計画の推進にあたって	1件
その他	21件
合計	107件

ご意見の概要とそれに対する市の考え方は次ページ以降をご覧ください。なお、取りまとめの都合上、いただいたご意見は項目ごとに整理し、要約して掲載しています。

スポーツ推進計画19-28・パブリックコメントのご意見

No.	意見の概要	市の考え方
-----	-------	-------

第1章 スポーツ推進計画策定あたって

スポーツに期待することに関する意見

1	「スポーツに期待されること」を図でわかりやすく整理しているが、「するスポーツ」の効果として「生産性向上」「創造性向上」など、他の年代と比較して実施率が低い年代の実施率を上げていくためにもその効果や期待を明記した方が良いと思われる。	本計画では、スポーツそのものが持つ力(楽しさ、爽快感、充足感)、スポーツによって個人に波及する力(健康の維持・増進、チームワークやフェアプレーの精神の醸成)、スポーツによって社会に波及する力(地域の一体感、経済の活性化)の4点をスポーツに期待されることや効果、スポーツの価値であると捉え記載しております。ご意見を参考に図への記載等検討してまいります。
---	---	---

第2章 町田市のスポーツに関する現状と課題

町田市スポーツ推進の課題に関する意見

1	スポーツ推進委員数が26市の中で最下位となっている根本的な原因は何か。	体育指導委員から現行のスポーツ推進委員制度に移行した際、スポーツ推進委員の役割に適した委員定数に変更していなかったことによるものです。
---	-------------------------------------	---

第3章 スポーツ推進の施策について

計画の基本的な考え方に関する意見

1	町田市のスポーツ推進計画はやや総花的ではあるが、希望に溢れておりとても良い計画であり支援する。具体的は成果を出すためには、テーマに優先順位付けをして実効を上げることが必要。	本計画の目標を達成するために、優先順位をつけ着実に事業を実施していく必要があると考えております。優先順位の高い事業は、アクションプランに基づき事業を実施してまいります。
---	--	--

本計画の指標(数値目標)に関する意見

2	スポーツを「する」「みる」「支える」に関わった市民の割合をトータルで93.1%から95%にするとあるが、この数値(トータル値)に意味はあるのか。 3つの軸でそれぞれ個別に数値目標を出しているのだから、数値目標も個別に打ち出すのが良いのではないか。	スポーツに関わるのが難しい方がいることを想定したうえで、それ以外の市民全員が、「する」「みる」「支える」いずれかの形でスポーツに関わることで、本計画が目指す「スポーツで人とまちがひとつになる」の実現を目指してまいります。
3	スポーツボランティアを行った割合を5.5%(2018年)→15%(2023年)→15%(2028年)とするとあるが、数値目標の根拠は何か。2023年の時点で既にこれを達成し、2028年では15%維持としている理由は何か。	2018年度「町田市スポーツに関する市民意識調査アンケート」を実施し、「東京2020大会へのボランティア希望者の割合」の調査結果から数値目標の根拠を示しております。東京2020大会でスポーツボランティアの数がピークを迎えると想定しており、2021年度以降は、スポーツボランティアの数を維持しながら、活動の多様化、組織化等、質の向上を図っていくことを検討しております。

No.	意見の概要	市の考え方
-----	-------	-------

各団体の役割に関する意見

4	スポーツ推進委員に求められる役割や成果についてもう少し具体的な記述を増やしても良いのではないかと。	本計画では、スポーツ推進に携わる各主体が連携・協働することで多様化するスポーツ推進の課題を解決していくものと考えております。ご意見を参考に検討してまいります。
5	スポーツ推進委員の存在や活動について市民に知らせることが必要。	スポーツ推進委員に限らず、町田市のスポーツ推進に関わる各主体の存在や活動について、効果的な情報発信を検討してまいります。

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実

基本施策(1) 子どものスポーツ推進に関する意見

1	スポーツが「嫌い」な子どもを少しでも減らすには、体験できる『場』を設け、多くの子どもに体験させることが大切。	子どもがスポーツに親しむ機会の提供が必要であると認識しております。学校やスポーツ推進委員、地域スポーツクラブと連携し、主な事業として記載しております「まちとも」など当該施策に基づくアクションプランを検討し、スポーツに親しむ機会を提供してまいります。
---	--	--

基本施策(2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進に関する意見

2	市民体力テストを親子参加型にして、30代、40代の参加率を向上させ、親子共に体を動かすことへの意識を改革。スポーツの推進、教室等の情報提供。	30歳代、40歳代のスポーツ実施率を向上させていくためには、親子ともにスポーツへ参加する機会を提供していく必要があると認識しております。ご意見を参考に、当該施策に基づくアクションプランを検討してまいります。
---	--	---

基本施策(4) 障がい者のスポーツ推進に関する意見

3	視覚障害者の方々が自発的に運動を出来る場所や備品の確保をしてもらうことはできないか。	障がいの有無にかかわらず、どこでもスポーツが楽しめる環境が必要であると認識しております。ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
---	--	---

No.	意見の概要	市の考え方
<p>基本目標2 スポーツに関わる人材と組織の充実 基本施策(1) スポーツを支える人材の育成</p>		
1	<p>市内の中学校・高校には、柔道場があるにも関わらず、柔道部がない学校がある。競技団体と学校部活動と連携を推進し、指導資格を持つ高段者の指導者を派遣することを検討できないか。</p>	<p>本計画では、スポーツ推進にあたって、スポーツ推進に携わる各主体の連携・協働は不可欠であると考えております。 ご意見を参考に、基本施策(2)の推進施策に基づくアクションプランを検討してまいります。</p>
2	<p>地域スポーツクラブが活動する中で、得意分野と不得意分野があるので、特に不得意分野で力を発揮して頂ける人材に出会いたい。そのためには、スポーツと子供と高齢者を巻き込んだ活動が必要不可欠。</p>	<p>本計画では、スポーツ推進にあたって、スポーツ推進に携わる各主体の連携・協働は不可欠であると考えております。 ご意見を参考に、基本施策(2)の推進施策に基づくアクションプランを検討してまいります。</p>
<p>スポーツボランティアの活躍推進に関する意見</p>		
3	<p>市民ボランティアの組織立ち上げ、活動ガイドライン策定してはどうか。</p>	<p>町田市独自のスポーツボランティア組織「まちだサポーターズ」の活動を、より一層活発化させていきたいと考えております。 ご意見として承り、施策を進める中で今後の参考とさせていただきます。</p>
4	<p>「まちだサポーターズの活動活発化」とあるが、「まちだサポーターズ」の活動に、様々な年代にも参加してもらえるよう施策を考えた方が良いのではないか。</p>	<p>スポーツを支える人材を育成していくためには、様々な年代の方がスポーツボランティアに参加していただくことが必要であると考えております。 ご意見を参考に、当該施策に基づくアクションプランを検討してまいります。</p>
<p>基本施策(2) スポーツを支える団体の支援・育成</p>		
5	<p>市内各団体の役割の中で、相互に連携をはかる新たな組織を結成し、市内のスポーツ関係団体が一堂に会し、情報交換・意見交換を行い、市全体が情報を共有することが必要。</p>	<p>本計画では、スポーツ推進にあたって、スポーツ推進に携わる各主体の連携・協働は不可欠であると考えております。 ご意見を参考に、当該施策に基づくアクションプランを検討してまいります。</p>
6	<p>地域スポーツクラブはどんな活動をしていけばよいのか。</p>	<p>本計画では、スポーツ推進にあたって、スポーツ推進に携わる各主体の連携・協働は不可欠であると考えております。 その中で、地域スポーツクラブには学校や町内会自治会等との連携において中心的な役割を担い、地域スポーツのニーズを把握し、ニーズに合ったスポーツ活動を推進していただきたいと考えております。</p>
7	<p>町田市体育協会主催の「スポーツ祭まちだ」ではそれぞれ各競技団体が参加するスポーツの祭りなので、全体育協会加盟団体がもう少し一丸とならなければ出来ない。</p>	<p>市は、体育協会や体育協会加盟団体とビジョンを共有してスポーツを推進していく必要があると考えております。 ご意見として承り、体育協会と連携しながら取り組んでまいります。</p>

No.	意見の概要	市の考え方
基本目標3 スポーツ環境の充実 基本施策(1) 「する」スポーツ環境の充実		
1	こどもの体力向上、きっかけづくりには、環境の充実にある様に、放課後の「学校」や身近な「公園」の親子でのボール遊びの解禁が必要。	本計画では、市民が生活に身近な場所でスポーツに親しむことができるようスポーツ環境の充実に取り組んでまいります。 ご意見を参考に、当該施策および基本目標1基本施策(1)に基づくアクションプランを検討してまいります。
2	高齢者への健康づくりにはニュースポーツに捕らわれず「公園」開放で従来スポーツの推奨もあり。	本計画では、市民が生活に身近な場所でスポーツに親しむことができるようスポーツ環境の充実に取り組んでまいります。 ご意見を参考に、当該施策および基本目標1基本施策(3)に基づくアクションプランを検討してまいります。
3	施設が少ない中で、スポーツ実施率を上げていくのは難しいのではないかと。市民が利用できる施設を増やしていく必要があるのではないかと。	本計画では、市民が生活に身近な場所でスポーツに親しむことができるようスポーツ環境の充実に取り組んでまいります。 ご意見を参考に、当該施策に基づくアクションプランを検討してまいります。
4	施設の少なさに増して制限が多すぎる。「安全の為に」とうたわれたら反論も出来ない、学校の校庭・公園等は更に解放すべき。	本計画では、市民が生活に身近な場所でスポーツに親しむことができるようスポーツ環境の充実に取り組んでまいります。 ご意見を参考に、当該施策に基づくアクションプランを検討してまいります。
5	町田の体育館は東地区にほとんどが存在する。利用するにあたっては先着順の受けのため、西地区住民の利用は自ずから少なくなる。西地区住民の利用促進の為、西地区住民の日を設け、利用機会均等を推進してはどうか。	まちだ施設案内予約システムを活用し、今後も引き続き市民が平等に利用できるよう運用してまいります。
6	総合体育館を特定の団体、チーム、個人にだけ利用させない対策を実施して欲しい。	まちだ施設案内予約システムを活用し、今後も引き続き市民が平等に利用できるよう運用してまいります。
7	廃校をもっと積極的に利用させてほしい。	ご意見として承り、施策を進める中で今後の参考とさせていただきます。

No.	意見の概要	市の考え方
8	<p>体育館、校庭だけでなく教室でできるスポーツはたくさんある。管理や責任の問題は理解できるが、それでは先に進まないと思う。</p>	<p>教室等限られたスペースでできるスポーツがあることは認識しております。 ご意見として承り、今後学校の新築・改築などの際に特別教室や多目的室を一般開放できるよう検討してまいります。</p>
9	<p>光や騒音等、施設を整備する際には、近隣住民への配慮をしたうえで検討してほしい。</p>	<p>公のスポーツ施設を整備する際には、住民説明会を実施しており、住民のご意見を参考に事業を進めております。 ご意見として承り、施策を進める中で今後の参考とさせていただきます。</p>
10	<p>小山の高架下広場では騒音もありスケートボード等ストリートスポーツを禁止した。遮音できる施設など、町田市でもオリンピック競技の練習が出来る場の提供を検討していく必要があるのではないかと。若い世代が楽しめるスポーツ環境の検討もしてほしい。</p>	<p>公のスポーツ施設を整備する際には、住民説明会を実施しており、住民のご意見を参考に事業を進めております。 ご意見として承り、施策を進める中で今後の参考とさせていただきます。</p>
11	<p>他市にならい利用料金の均一化を。65才未満の方が体育館を利用すると、駐車料金も含め最低でも500円は必要。共稼ぎの方の健康促進の為、18才以上(除く学生)の利用者は一律200円とするなど検討を。</p>	<p>利用料金及び駐車場の利用料金については、受益者負担の考え方や近隣自治体の施設利用料金を考慮して設定しております。</p>
12	<p>野津田公園へのテニスコート12面新設に付きまして引き続き推進をお願いしたい。まとまったコート数がなく、大会が開催できる仕様のコートが無く、大会招聘などができない。</p>	<p>テニスコートの新設については、「第2次野津田公園整備基本計画」に基づき段階的に実施してまいります。</p>
13	<p>野津田スポーツパークの二次計画進捗が見えてない。マレットゴルフ場の常設コースを早期に願います。</p>	<p>マレットゴルフ場の常設コースについては、「第2次野津田公園整備基本計画」に位置付けております。</p>
14	<p>アーチェリーのようなマイナーなスポーツはやりたくてもその機会が多くはない。現在町田及び周辺にはアーチェリーの70mを練習できる環境がない。国体、オリンピック等の種目である70mの競技がほとんど。町田に70mの射場を作っていただきたい。</p>	<p>アーチェリー場については、「第2次野津田公園整備基本計画」に位置付けております。</p>

No.	意見の概要	市の考え方
15	武道館や各学校に柔道場を完備している学校がない。	現在、武道場を整備している学校は5校あり、町田第一中学校は校舎改修時に武道場を整備する予定でございます。 ご意見として承り、今後学校の新築・改築などの際に参考とさせていただきます。

基本施策2 「みる」スポーツ環境の充実

16	「みる」スポーツ環境の充実に資するとされている「陸上競技場観客席増設」は取り止めるべき。町田市の身の丈にあったスポーツ環境の充実のあり方についても再検討すべき。	「みる」スポーツをきっかけとして人が集まり交流する機会をつくることで、地域の賑わいづくりにつながると考えております。 陸上競技場観客席増設については、「町田市5カ年計画17-21」に基づき実施してまいります。
17	交通環境の悪い町田で市中心部から遠く離れた野津田、小野路に立派なスポーツ施設を創っても、見に行く人は少ない。	更なる交通アクセスの改善が必要であると認識しております。 ご意見として承り、施策を進める中で今後の参考とさせていただきます。
18	「パブリックビューイングの実施」とあるが、本当に効果があるのか疑問。なぜパブリックビューイングに人が集まるのか、サッカーや各種オリンピック競技など過去にパブリックビューイングを実施した例などをよく調査したうえで、検討して欲しい。	町田ゆかりのアスリートが出場する国際大会等のパブリックビューイングを実施することにより、多くの人が集まり交流する機会を提供し、オール町田の一体感を創出することができます。オリンピック・パラリンピック等の国際大会に向けた気運醸成や地域の賑わいづくりに取り組むことで、「スポーツで人とまちが一つになる」を実現してまいります。
19	年間で10万人を超える集客をさらに増やすために、陸上競技場の改修工事を早期に実施するとともに、FC町田ゼルビアのJ1昇格が市や市民にとって有益であることを、より一層市民にアピールすることが重要。	本計画では、「みる」スポーツをきっかけとして人が集まり交流する機会をつくることで、地域の賑わいづくりにつながると考えております。 ご意見を参考に、当該施策に基づくアクションプランを検討してまいります。

基本目標4 スポーツを通じたまちづくり

基本施策1 スポーツ情報の発信

1	人口の割に施設が少ないという結果が出ているが、施設がないのであれば公園等を活用していく必要がある。スポーツ利用できる屋内外の施設等の調査、情報発信が必要ではないか。	スポーツに親しむ機会や場所についての情報を、効果的な方法で発信していく必要があると認識しております。 ご意見を参考に、当該施策に基づくアクションプランを検討してまいります。
2	市のHP等にも当該情報はあがるが、スポーツができる場所を紹介するWEBコンテンツを作成し、利用者や興味を持つ方を増やす事が可能なのではないか。SNS等を使って拡散する事も想定できる。	スポーツになじみの薄い方を中心に、スポーツに親しむ機会や場所についての情報・魅力を発信していく必要があると認識しております。 ご意見として承り、施策を進める中で今後の参考とさせていただきます。

No.	意見の概要	市の考え方
3	広報まちだが情報取得の最大の媒体ではあるが、スポーツを観る機会、触れる機会を増やすために、Twitter等のSNSを上手く活用できるのではないか。市民やゆかりのある方々に情報を拡散してもらう事も考えられる。	スポーツになじみの薄い方を中心に、スポーツに親しむ機会や場所についての情報・魅力を発信していく必要があると認識しております。ご意見として承り、施策を進める中で今後の参考とさせていただきます。
4	大会等の情報発信の強化が必要。大会を開催していても、多くの方々がその存在と参加機会を知らない状況である。体育協会加盟団体のホームページの充実、体育協会、市も積極的に情報発信する必要がある。	スポーツに親しむ機会だけでなく競技スポーツに関する情報についても、効果的な方法で発信していく必要があると認識しております。ご意見として承り、体育協会等関係団体と連携し取り組んでまいります。
5	施設や体育協会加盟競技団体の情報もオープンにしていけると競技スポーツを始めたい、始めてみようという子どもが増えてくるのではないか。	スポーツに親しむ機会だけでなく競技スポーツに関する情報についても、効果的な方法で発信していく必要があると認識しております。ご意見として承り、体育協会等関係団体と連携し取り組んでまいります。

基本施策2 スポーツを通じたシティプロモーション

6	マラソン大会をして盛り上げるのが一番だと思う。平坦なコース設定、余裕ある時間設定、ファミリーランや高齢者向けのウォーキングなど色々なカテゴリーを設け、スポーツ通じた町おこしと認知度アップ等あらゆる効果が見込めるのではないか。	ご意見として承り、施策を進める中で今後の参考とさせていただきます。
7	自ら調べるだけでは気付けない、また、実際に施設の存在を知らないような方々に、町田市内の各施設を回って視察できる機会を作る事で、新しい利用者を作るきっかけにできるのではないか。	スポーツ施設周辺の地域に限らず、より多くの市民の方にスポーツに親しむ機会や場所等の情報を発信していく必要があると認識しております。ご意見として承り、施策を進める中で今後の参考とさせていただきます。
8	「町田駅・鶴川駅・成瀬駅周辺をホームタウンのチームカラーに染め上げます」とあるが、なぜこの3駅に限定してしまうのか。周辺地区だけでなく、オール町田の一体感を出すためにはホームタウンチームを通じた取り組みが有効ではないか。	ご意見を参考に、当該施策に基づくアクションプランを検討してまいります。

ホームタウンチームに関するご意見

9	ホームゲームに市民を無料招待するよりも、新規観戦者を増やす取り組みを推進していくべきである。	市内外にホームタウンチームの魅力を発信し、観戦者を増やすことで、「みる」スポーツに関わる人々を増やしていく必要があると認識しております。ご意見として承り、施策を進める中で今後の参考とさせていただきます。
---	--	---

No.	意見の概要	市の考え方
10	FC町田ゼルビアの場合、認知度がこれだけ高くして試合観戦した事が無い人がこれほど多い現状を鑑みると、周知の問題では済まないのではないかと。交通アクセスの問題等施策の検討をしてほしい。	更なる交通アクセスの改善が必要であると認識しております。 ご意見として承り、関係各課に周知し、連携しながら取り組んでまいります。
11	全国にわずか54チーム(J2以上は40チーム)しかないJリーグチームが町田にあることは市や市民にとって貴重な財産である。	ホームタウンチームは、まちの魅力向上や活性化に寄与する財産であると考えております。

国際大会等を通じた国際交流に関する意見

12	町田市と関係が出来た国、競技について、可能であれば練習試合での応援、競技応援の市民枠を設けてチケット購入等支援するのはどうか。	国際大会を通じた招致国との交流については、今後も継続してまいりたいと考えております。 ご意見として承り、施策を進める中で今後の参考とさせていただきます。
----	---	---

第4章 計画の推進にあたって

1	PDCAのサイクルを回すとあるが、どれくらいの周期でこのサイクルを回そうとしているのか。また、市民に見える形で公表して欲しい。	市民意識調査による状況確認及びアクションプランの進捗確認の結果については、町田市スポーツ推進審議会への報告を行うとともに、町田市ホームページにて公表いたします。また、計画の中間年にあたる2023年度で、アクションプランの見直しを行い、さらに推進してまいります。
---	---	--

その他

1	体育施設循環バスなどを考えてもよいのではないかと。	ご意見として承り、関係各課に周知し、連携しながら取り組んでまいります。
---	---------------------------	-------------------------------------